

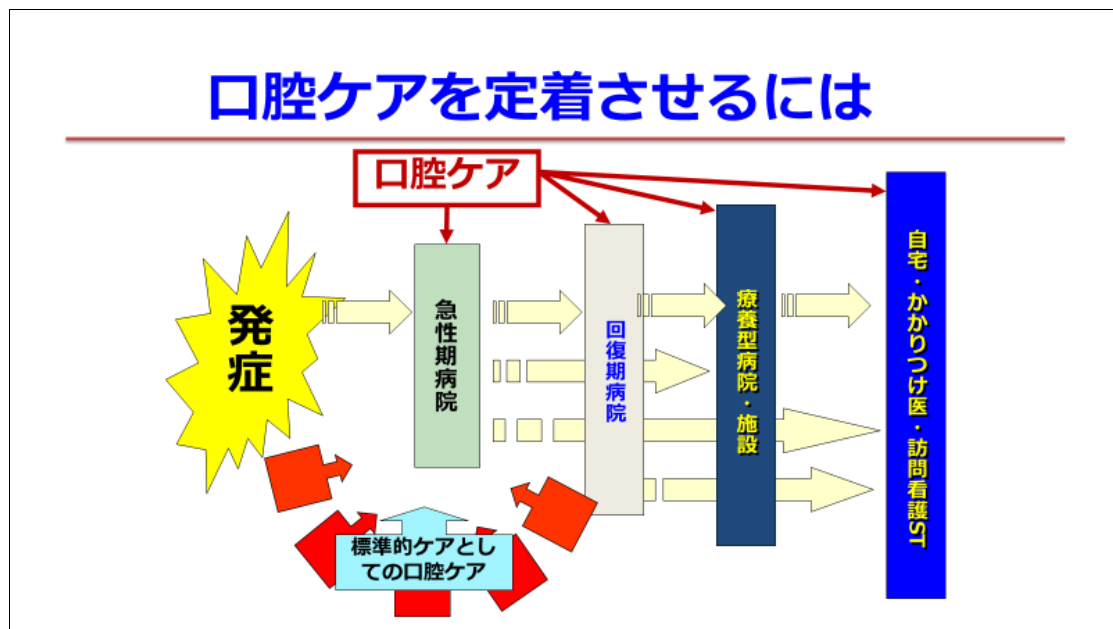
（案）

## 多職種による地域連携【高齢者の口腔ケア】 必要性解説チャート

### 【口腔ケアを定着させるために】

すべての場面で口腔ケアの提供が必要 が必要です

そのためには急性期病院入院時から口腔ケアを提供することが重要です。患者への標準的なケアの中に口腔ケアを組み込むことによって口腔ケアの介入を標準化することができます。それによって回復期病院あるいは施設や在宅療養の場に口腔ケアをつなげやすくなります。患者の居場所に合わせたシームレスなケアバンドル(ケアの束)の提供が求められています。



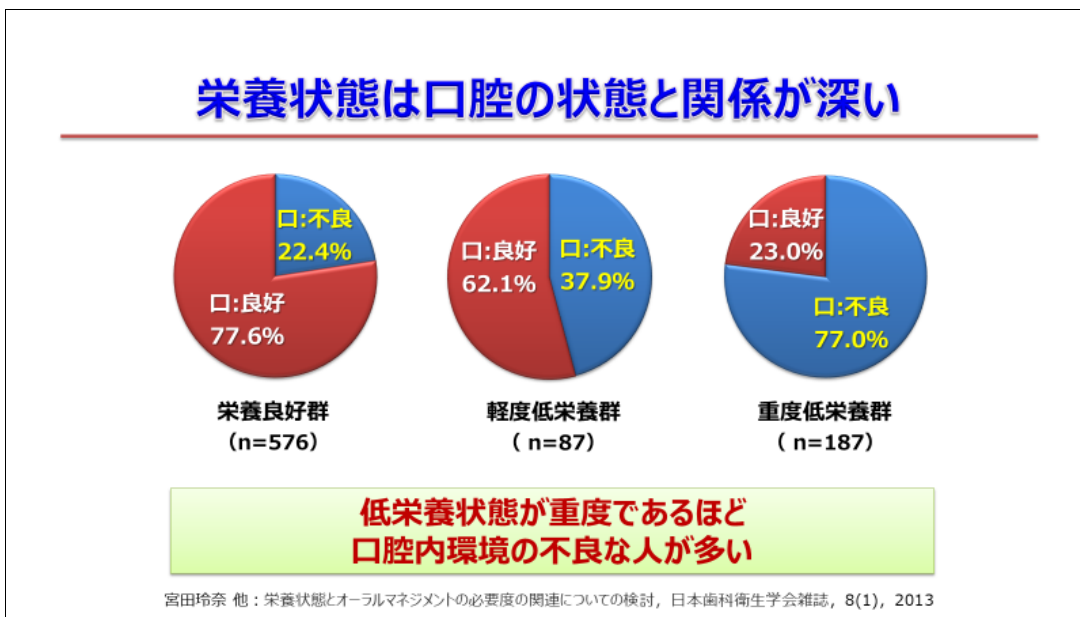
### 【咀嚼など口腔機能を向上させることで栄養状態が改善する】

回復期病床における入院患者の口腔の状態と栄養状態との関連を調べた研究によると、栄養状態は口腔の状態と関係が深いといいます。口腔に何らかの問題がある患者と問題のない患者との栄養評価を比較した結果、問題のある人のほうが低栄養状態がより重度であることがわかっています。

さらに詳細に調査を進めると、低栄養状態が重度であるほど口腔内の状態不良である人の割合が多いことがわかりました。全身の栄養状態の前に先行して口の衰えが存在することがわかります。

このような方に対して、総義歯の新たな作製に加えて簡便な食事指導を行うことによって食品摂取量が有意に増加し、たんぱく質、ナトリウム、マグネシウム、ビタミンB群などの栄養素摂取量が改善、さらに栄養状態も改善するとの報告があります（Suzuki H, Kanazawa M, Komagamine Y, et al.: Changes in the nutritional statuses of edentulous elderly patients after new denture fabrication with and without providing simple dietary advice. J Prosthodont Res 2019; 63: 288-292.）。栄養士など多職種

と歯科が連携できる新たなプラットフォームも必要です。

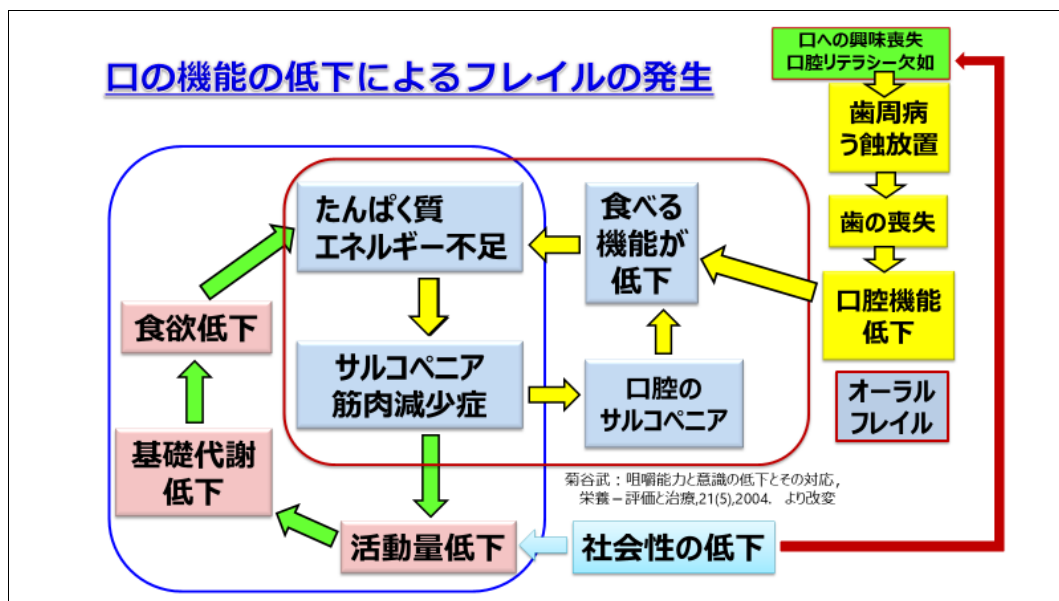


## 【フレイルの原因のひとつに口腔機能の低下がある】

すべての人に口腔ケアが提供される必要があります。フレイルの重要な原因のひとつに「口腔機能の衰え（オーラルフレイル）」があるからです。

身体的フレイルの実態はサルコペニアとよばれる筋肉量減少つまり低栄養です。一般的なフレイルサイクルは、社会性の低下による活動量の低下を招き、食欲低下、たんぱく質・エネルギー不足から筋肉量の減少をきたします（青線枠）。

一方、口腔機能の低下による食物の摂取量の低下がサルコペニアを引き起すこともわかっています（赤線枠）。口腔機能低下は歯の本数が減少することで起こりますが、その原因は歯周病やう蝕（むし歯）の放置です。さらにその上流には口への興味の喪失が存在します。これも社会性の低下が関連していると思われます。



(文責：神戸市健康局歯科専門役 足立了平)